



2025年12月19日

No. 2025-025

ヘリコプター搭載型砕氷巡視船「そうや」引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(社長：廣瀬 崇、本社：神奈川県横浜市)は、12月19日(金)、横浜事業所磯子工場(神奈川県横浜市)にて建造していた海上保安庁殿向け砕氷型巡視船「そうや」(PLH01)を引き渡しました。

本船は、2代目「そうや」の代替船として、令和3年度補正予算で計画された海上保安庁最大の砕氷型巡視船です。

建造にあたっては、当社技術研究所が保有する氷海試験水槽を活用し、実海域を再現した試験を重ねることで、氷海域と平水域の両方で高い運航効率を達成できる船型を採用しております。

また、先代「そうや」には搭載されていなかった遠隔放水銃を新たに装備したほか、減揺装置の最適化や旋回性能の向上など、総合的な機能向上を図っています。

当社は、これまで培ってきた砕氷船建造技術と、長年の官公庁船建造実績を活かし、今後も砕氷船をはじめとした多様な艦船の建造に取り組んでまいります。

<本船の概要>

全長： 92.4 メートル

幅： 16.4 メートル

総トン数： 4,200 トン